



＝ 敷戸弾薬庫にミサイルはいらない＝ 住民が「市民の会」を設立

8.15 敗戦記念日 反戦 反核の闘いを！

岸田政権は、大分市駕野の敷戸弾薬庫に大型弾薬庫二棟の新設を計画、工事は今年の十一月着工とされている。これに対し反対する住民が八月十一日「大分市敷戸ミサイル弾薬庫問題を考える市民の会」を結成した。

共同代表には神戸輝夫（大分大学名誉教授）以下八名が就任した。

共同代表でもある岡村正淳弁護士が講演し「敵基地を攻撃できる長射程ミサイルの保管が想定される。射程が二千キロ以上の兵器もある。政府は相手国が攻撃に着手した時点で反撃できると述べている。平和憲法下の専守防衛を反古にし、先制攻撃を容認したといえる」と問題視した。集会では大型弾薬庫建設の中止を求める署名活動や学習会などの活動方針も決めた。

敷戸弾薬庫はJR大分大学前駅の目の前、国道一〇号線、米良バイパスにも隣接する、住宅密集地のご真ん中にあり二万世帯四万人が生活



挨拶する久原県連合代表

大型弾薬庫建設は、昨年末、安保三文書が定めた軍事費倍増をねらう大軍拡計画の一部、大型弾薬庫だけでも一三〇棟が今後一〇年以内に全国各地で建設される計画になっている。

十一日の結成総会で、連帯挨拶として久原和弘県連代表が「社民党大分県連合は敷戸弾薬庫にミサイルは要らない！皆さんと共に闘っていきます！」と決意表明をした。

総会には多くの党員も参加し「大分敷戸ミサイル弾薬庫問題を考える市民の会」の方針に沿った取り組みを進めると同時に、党独自でできる取り組みも合わせて進めていく決意です。

副代表 二村 誠一

戦争に反対する県民集會

戦争できる国づくりを許してはならない！

敗戦の日から七十八年、今年も「八・一五戦争に反対する県民集會」が開催された。（百二

十名参加、県連合八名参加）演題は「大分分屯地の弾薬庫問題と平和主義」と題して、名古屋大学の飯島慈明教授が講演されました。

大分分屯地の大型弾薬庫建設は昨年十二月、岸田自公政権が閣議決定した「安保三文書」の一つの「防衛力整備計画」によるものと説明した。計画では青森県むつおおがわら市（海上自衛隊）大分市（陸上自衛隊）に二〇二三年十一月から工事を開始し、二〇二六年度に完成予定とし



ている。攻撃対象となる危険性ロシアのウクライナ侵略で明らかのように、戦争となれば軍事施設・弾薬庫が攻撃の対象となるのは軍事的常識です。戦時下となれば大分分屯地も攻撃の対象となり甚大な被害を大分市民が受けることが考えられます。

九州で着々と進む「戦争できる国づくり」

麻生太郎副総裁は台北で開かれた講演で、台湾海峡の平和と安定には強い抑止力が必要、そのため日米や台湾に「闘う覚悟」が求められていると主張し、ことさらに台湾有事を煽っている。

南は与那国島から沖縄本島、奄美大島、馬毛島、鹿屋、新田原、日出生台、築城、熊本、佐世保と自衛隊の配備が強化されアメリカの戦争で自衛隊が戦わされ、沖縄・九州が戦場になる危険性があると言われています。

次世代に平和な日本を！

飯島教授は、戦争で犠牲になるのは派遣される自衛官と市民。私たちの行動が、将来の子どもや孫の世代に平和な日本を引き継げるかを意識しよう！と話されました。

最後に主催者の大分県平和運動センター大野真二議長は、身近なところから戦争に反対する活動の必要性と戦争のない社会を築こうと訴えられました。

幹事長 馬場 徳明

社民党の公式 YouTube で真実の情報配信中 社民党で検索を！

終戦の日 2023

ずっと戦後であるために

2023年8月15日(火) 20:00-21:00

【出演】
 新垣クニオ (社民党副党首・衆議院議員)
 大橋ゆうこ (社民党副党首・参議院議員)
 福島みずほ (社民党党首・参議院議員)
 山城ヒロジ (社民党常任幹事)

社民党



長射程ミサイルの
大型保管庫建設
許さない!

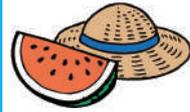


高野博幸市議からの
レポート



みなさん
残暑お見舞い
申し上げます

コロナが増え始めています。体調管理に気をつけて下さい。令和五年第二回大分市議会定例会が六月二十四日から七月十四日の日程で開催されました。総務常任委員会で継続審査となっていました。「陸上自衛隊大分分屯地への大型弾薬庫新設問題についての陳情」(いずれも赤とんぼの会提出)の審査を行いました。採決の結果、不採決となりました。総務委員会のメンバーは、私が所属するネットワークみらい二名、自民党三名、公明党一名、新市民クラブ一名、Oita市民クラブ一名、無所属一名(日本維新の会)となっており、賛成は我が会派の二名のみでした。残念な結果となり、本会議において会派を代表して松下議員が反対討論を行いました。



岸田内閣支持率暴落!



写真イラストはFBから
こんな破廉恥議員を許してはならない!



岸田内閣支持率

・時事通信	26.6 %
・NHK	33 %
・JNN	37.1 %

広島サミットにゼレンスキー大統領まで呼び寄せ内閣支持率アップを狙い 9月に解散総選挙と目論んだ岸田首相だが、支持率は暴落し危険水域どころか壊滅的水域となり自民党内からも選挙どころではないと言われてる。戦後から戦前といわれる厳しい状況の中で私たちは反戦反核の運動を広め、来る総選挙を勝利しよう!

楽しい老後を迎えよう!
小野よしみが 吠える~!

県議会議員選挙のさ中、3月に母がコロナで天国に召されてから6ヶ月。お1人様1年生になりました。夫と母の介護生活は8年続きました。今、考えると、その日その日が精一杯で自分のことを考える時間もあまりなかったような気がします。それでも介護生活には、健康な肉体・体力がなければと、体重を減らしてダイエットに励みました。なんと23kg減らすことができました。(前の体重は秘密)誰もが老後を迎えるわけですが、体を鍛えることを日常的にする生活習慣は大事です。これは早すぎる夫の死から学びました。母からは断捨離です。母の住んでいたマンションはゴミ箱と化し、たくさんの洋服とゴミで溢れていました。片付けをするのに大変な労力を費やしました。



そこで今すべきことは、自分の老後に備え、運動と食事、そして片付けを頑張ること。息子には迷惑をかけるないように! みなさんはどんな老後をご過ごしたいですか?